

【鳥取県の全体目標】 がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を**61.0未満**とする
(令和10年度まで) (男女別の目標値 男性：74.0未満 女性：46.0未満)
 【中期目標】 がんと診断された時から患者と家族が抱える様々な苦痛に対する適切な緩和ケアを提供できる体制を整備する。

前年度の目標	①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育を行う。②緩和ケアを専門としない医療従事者と緩和ケア専門家との連携を強化する。③各施設で緩和ケアに対する課題を明確化し、課題解決を図る。		
前年度Plan		前年度Act	
①医療従事者への基本的緩和ケアに関する教育 <small>(緩和ケア研修の多職種参加推進(PEACE研修含む)、看護師向けの研修“ELNEC-J”開催、地域医療機関向けの研修開催)</small> ②医療従事者と緩和ケア専門家の連携強化 <small>(緩和ケアに関するマニュアル改訂・周知、緩和ケアチームへの依頼方法の周知徹底、緩和ケア専門家との連携方法の再考、リンクナースの機能強化と連携強化、多職種カンファレンス開催、地域医療機関との連携強化)</small> ③各施設の課題の明確化と課題解決		①緩和ケア研修会(PEACE研修)には医師以外に看護師や薬剤師、臨床心理士等、多職種が参加することができた。多職種が自らの専門性をもって研修に参加することでより効果的な研修になる。まだ多職種の参加は少ない現状にあり、積極的な参加を啓蒙する必要がある。 その他の研修開催は施設により様々であるが、概ねWeb若しくは集合研修を企画・実施できている。緩和ケアの普及啓発のための研修は継続して実施することが望まれる。特に在宅医療への支援体制推進は鳥取県がん対策基本計画で取り上げられた課題であり、地域医療機関向けの研修や連携構築は重要である。 ②緩和ケアマニュアル改訂は概ね終了し、定型化したシステムでチーム紹介ができています。チーム紹介は病棟ラウンドやリンクナースを活用して地道に対象者を発掘している施設が多かった。リンクナースが廃止された施設もあり、専門家との連携は意図的に働きかける必要がある。 ③各施設の課題を統合すると緩和ケアの専門スタッフの育成ならびに多職種チーム活動の維持・推進に尽力していく必要がある。	

今年度の目標	①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育を行う。 ②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制を構築する。 ③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成を行う。		
Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検・評価)	Act(処置・改善)
①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育 ・緩和ケア研修の多職種参加推進(PEACE研修含む) ・看護師向けの緩和ケア研修“ELNEC-J”参加推進 ・地域医療機関向けの緩和ケア研修開催 ②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制構築 ・苦痛スクリーニングの実態調査 <small>(実施の有無、実施後の対応方法、緩和ケアチーム紹介となった症例数etc)</small> ・緩和ケアチーム紹介の適切性の評価 ・(必要時)緩和ケアチーム紹介方法の見直し ・地域医療機関との連携強化 ③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成 ・緩和ケアを専門とするスタッフの育成 ・リンクナースの育成・機能強化 ・多職種カンファレンス開催			